

ポリテクセンター

92・2%が再就職

今年度訓練 全国平均大きく上回る

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が運営する花巻市天下田の岩手職業訓練支援センター（ポリテクセンター岩手、山本文世所長）は、2013年度の離職者、在職者訓練の実施状況をまとめた。このうち、離職者訓練を受けた後、再就職に結び付けた割合（昨年末現在）は92・2%で、全国平均を大きく上回り、地域ニーズに対応した訓練科目設定が高い就職率に結び付いていることを示した。

同センターは事業主、勤労者のニーズに合った各種の職業能力開発、向上に関する業務を実施す

る。同時に、求職者の再就職に向けての職業訓練の地域の間や公的機関と内容を重複しないことを条件に調整されてお

り、開設から53年目を迎える岩手はものづくり訓練に特化した内容が設定されている。離職者訓練の実施状況によると、訓練科目はテクニカルオペレーション、金属加工、電気設備、ビル管理、住宅リフォーム、生産設備、機械加工、溶接技術、住宅建築施工、住宅設備施工などが設けられた。訓練期

間は通常6カ月から短期の2、3カ月コースがあり、この中には震災復興訓練も含まれている。定員は半径40キロ圏内にある盛岡、花巻、北上、水沢の各職業安定所の求人、求職を基にして算出している。今年度の定員は494人。これに対し、入所者は387人。入所率は78・3%で、前年同期を7

・6%上回った。訓練後の就職率は92・2%で、入所時からジョブカードを使用した就職支援を徹底したことと前年同期を5%上回った。これは東北地区で最も高い。昨年11月末現在では全国平均が84・1%。岩手は全国でベスト5に入る高い就職率となり、地域特性を生かした連携が実を結んだ。

一方、在職者訓練は目標140人に対し、受講者は113人。達成率は80・7%。企業からの訓練リクエストに応えた内容が高く評価されている。

同センターでは14年度の訓練についても地域ニーズに基づき、ものづくりに限定した内容で開設する計画を進めている。山本所長は「地域に密着した技能者の育成を目指し、就職支援に努めていきたい」と話していた。